

海の日連休はやはり・・・

南ア 寸又川下西河内沢

当初は早出川の続きで、五十嵐さんリーダーで割岩沢を詰めるはずだった。そのために金曜日にも休みを取り、万全の態勢で整えるも、今年は早めの海の日連休、案の定新潟方面は連休中もずっと曇り/雨マークがついたままだ。晴れの地域を探して計画は一旦北上するも、雨マークも北上し、結局は一番天気安定していそうな南アに落ち着いた。コースは、メジャーどころを少し外した下西河内沢。でもなんだか面白そう。天気はまだ不安はあるものの、せっかくの連休、行ってみることにした。

7月15日

寸又峡温泉街に、ちょっと不似合いな格好をした我々3人。車を置きに行ったりラジオの忘れものを取りに戻ってくれたり、五十嵐さんは10分位離れた駐車場を2往復もしてくれた。しかし朝早くから営業している酒屋で前夜に買いそびれた酒を仕入れてくるあたり、転んでもただでは起きない気迫がにじみ出ている。

さて、長い林道歩きは、やはり夢の釣り橋を渡らねば始まらないようだ。観光名所にもなっており、帰りには渋滞で2~3時間待ちになっていたようだが、幸い平日の朝早くには、人影もまばら。しかし、橋までの長い下りとその後林道までの長い登りは、歩き始めのアップには少々ハードだった。

長い林道歩きを経て、ようやく千頭ダムにたどり着き、寸又川を渡渉して下西河内沢に入渓する。しばらくはゴーロを行くと、淵が出始める。釣屋が入るのだろうか、所々にトラロープやワイヤーが配置されている。こんなものない方がいいのには思いつつ、あるものは使わせていただく。巻道は割とはっきりしているものの、足元がやや悪い。またしばらくゴーロを行くと、1mの滝を皮切りに、ゴルジュ帯が始まった。登れる小滝が多く、楽しい所である。1ヶ所巻いて懸垂をした。ゴルジュ帯を過ぎ、その先の釜を伴った5m滝は右岸から巻き、懸垂で降りると、沢は開ける。時間もそこそこで空模様も怪しくなってきたので、天場を探しつつ歩きすぐに物件をゲットする。降り出す雨の中、五十嵐さんが山の幸を求めに行くが、こちらはゲットできず。それでもタープの下の宴会は滞りなく進められるのだった。

【日程】2016年7月15日~17日

【メンバー】栗原L 五十嵐竹澤

【グレード】3級上

【地形図】寸又峡温泉

【記】栗原



7月16日

出発してしばらくはゴーロ歩き。正面に80m大滝が見えるとそこは三つ俣、我々の行く先は一番右で、5mの滝を皮切りに再びゴルジュ帯が始まる。釜を泳いでシャワーを浴びながら滝を登るのは



五十嵐さんの得意とする所、積極的にお任せする。1ヶ所は、五十嵐さんが突破したものの、後続はシャワーの勢いに負けて登れず、左岸から高巻いた。途中の連瀑帯は突破できそうになく、左岸から高巻いて一旦沢床に下りるものの、再び右岸から高巻く。その後も滝が続くが、それを過ぎるとゴルジュ帯も終了、あとは再びゴーロ歩きとなる。奥の二俣で、時間は早いですがそれ以上進むと泊れる所もなさそうなので行動終了とし、あとはのんびりした時間を過ごすだけ。と思いきや、ここで切迫した事態が発覚した。前日、メタを使い過ぎたために、今日のたき火のメタはちっちゃいかけらが3片ほど。濡れ細った身体を、絶対たき火で乾かしたい！ここはたき火師五十嵐の出番、最初の火は儂く消え、これが最後のトライ、というマッチ売りの少女的見せ場も作りながら、無事たき火を点火させた。これがこの日のハイライトだった。

7月17日

今日は長い縦走路をこなさねばならない。水流がなくなる前にたつぷりと水を汲み、尾根の笹藪



に突入、しばらくこいで稜線に出、さらに黒法師岳へと向かう。稜線はガスっており、風もあつてかなり涼しい。黒法師岳からは、所々に赤テープがあるものの、踏み跡は分かりづらくなっており、一部地図とコンパスで方向を合わせて進んだ。途中で意外にも単独行者と遭遇、今日は沢に下りて泊り、釣りをするのだと言っていた。我々が沢から上がってきたと言うと「下西河内沢ですか？」と一発で名前を当てるあたり、とても慣

れている感じで頼もしかった。

だんだんと暑さの増す中、林道に到着、今度は車道から夢のつり橋を見る。ここは観光コースとなっており、三連休の中日で非常にたくさんの人たちが小奇麗に歩いている中、少し場違いの我々3

名も、観光客よろしく夢の釣り橋を入れて写真を撮ってもらう。充実した3日間を終えても更に1日休みがある幸せを噛みしめつつ、少々よれよれと駐車場まで戻った。



<竹澤感想>

奥深い場所でした。オミズ系の沢は初めてでしたが、水圧に弾かれ、水の冷たさに心折れ、泳げども前に進まず…。また新たな世界の扉を開けた気がします。滝の突破は五十嵐さん、ルーファイ・高巻きは栗原さんと、抜群のパートナーシップの元、無事予定の行程をこなすことができました。私も、これだけは負けない、というような得意分野を身に付けたいと思いま

した。

<五十嵐感想>

早出川本流が悪天で行けず、サブ案の行き先に悩んでの下西河内。寸又峡温泉から観光気分で「夢の吊橋」を渡りました。が、林道を歩いたダム先からは想像以上の大きな沢で、でもそこまでシリアスではなく、かといって甘くもなく、結果的にですが、パーティにちょうどいい厳しさの沢だったように思います。

2日目の夜、焚き火にうとうとしていたら、美しいハーモニーが聴こえてきました。夢だったのか、なんなのか。あとで二人に確認したらうふふと笑うだけで、真相はわかりませんでした。涙そうそうでした。

【コースタイム】7/15 寸又峡温泉駐車場8:30~千頭ダム10:30~c900付近c1 16:10
7/16 c1 6:00~三俣7:30~奥の二俣c2 12:30
7/17 c2 6:00~稜線7:30~黒法師岳8:10~前黒法師岳登山口14:45~駐車場15:25

